

津山圏域資源循環施設組合議会 11 月定例会 会議録目次

津山圏域資源循環施設組合議会臨時会の招集について	1
議案の送付について	3
組合議会運営予定表	4
議事日程	5
会議に付した事件	6
出席・欠席議員	6
出席した説明員	6
出席した事務局職員	6

第 1 号（11 月 17 日）

開会宣言	7
日程第 1 会議録署名議員の指名	7
日程第 2 会期の決定	7
日程第 3 議案第 2 号～議案第 3 号、報告第 2 号一括上程	7
日程第 4 議案質疑及び一般質問、採決	10
閉会宣言	11
会議録署名議員	12

津資組 第 574 号
平成 29 年 11 月 10 日

津山圏域資源循環施設組合議会議員 殿

津山圏域資源循環施設組合管理者 宮地 昭範

津山圏域資源循環施設組合議会11月定例会の招集について

このことについて、別紙津山圏域資源循環施設組合告示第16号の写しを添えてお知らせします。

津山圏域資源循環施設組合告示第16号

平成29年11月10日

平成29年11月17日(金曜日)午前10時30分, 津山圏域資源循環施設組合議会11月定例会を津山市役所議場に招集する。

津山圏域資源循環施設組合管理者 宮地 昭範

津資組 第 576 号
平成 29 年 11 月 10 日

津山圏域資源循環施設組合議会議員 殿

津山圏域資源循環施設組合管理者 宮地 昭範

議案の送付について

津山圏域資源循環施設組合議会11月定例会に提出する議案を、別添のとおり送付
します。

記

議案第2号	平成28年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算
議案第3号	平成29年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算(第1次)
報告第2号	管理者が専決処分した「損害賠償の額を定めることについて」

平成 29 年 11 月 17 日

1 1 月定例組合議会運営予定表

月 日	曜	会 議	備 考
11 月 17 日	金	全員協議会（午前 10 時 00 分） ・次第 1 開会 ・次第 2 管理者あいさつ ・次第 3 協議事項 （1）議事日程等について ・次第 4 報告・説明事項 （1）施設運営状況について （2）平成 29 年 11 月組合議会定例会提出議案について （3）今後のスケジュールについて （4）その他 ・次第 5 その他	
		本会議開会（午前 10 時 30 分） ・日程第 1 会議録署名議員の指名 ・日程第 2 会期の決定 ・日程第 3 議案上程 管理者の提案理由の説明 ・日程第 4 議案質疑及び一般質問 採決 閉会	

平成29年11月津山圏域資源循環施設組合議会定例会議事日程

(第1号)

平成29年11月17日(金) 午前10時30分開議

- | | |
|-------|---|
| 日程第 1 | 会議録署名議員の指名 |
| 日程第 2 | 会期の決定 |
| 日程第 3 | 議案第2号 平成28年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出
決算
議案第3号 平成29年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算
(第1次)
報告第2号 管理者が専決処分した「損害賠償の額を定めること
について」 |
| 日程第 4 | 議案質疑及び一般質問
採決 |

本日の会議に付した事件

日程番号	会議に付した事件
第 1	会議録署名議員の指名
第 2	会期の決定
第 3	議案第 2 号～議案第 3 号、報告第 2 号上程
第 4	議案質疑及び一般質問、採決

出席・欠席または遅参・早退した議員の番号・氏名

議席 番号	氏 名	出席 欠席	遅参 早退	議席 番号	氏 名	出席 欠席	遅参 早退
1	金 田 稔 久	出席		9	仲 西 祐 一	出席	
2	田 口 浩 二	〃		10	藤 田 多喜夫	〃	
3	中 島 完 一	〃		11	國 政 敏 明	〃	
4	西 野 修 平	〃	遅参	12	丸 尾 彰	〃	
5	広 谷 桂 子	〃		13	岡 部 英 生	〃	
6	松 本 義 隆	〃		14	鷹 取 渡	〃	
7	美 見 みち子	〃		15	貝阿彌 幸 善	〃	
8	村 田 隆 男	〃		16	松 島 啓	〃	

説明のため出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
管 理 者	宮 地 昭 範	会 計 管 理 者	山 口 一 義
副 管 理 者	水 嶋 淳 治	事 務 局 長	甲 田 勉
〃	笠 木 義 孝	監 査 委 員	仁 木 実
〃	大 下 順 正	施 設 課 課 長	松 原 寿 治
(鏡野町副町長)	有 本 昌 充	施 設 課 参 事	上 田 輝 昭
(美咲町副町長)	岡 部 初 江	総 務 課 参 事	加 藤 俊 文

職務のため出席した事務局職員の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
監 査 事 務 局 長	赤 松 直 人	総 務 課 主 査	尾 原 佳 世
施 設 課 主 幹	内 田 充	総 務 課 主 任	西 村 淳 子
総 務 課 主 幹	押 目 雄 一		

会議場所 津山市役所 議場

平成 29 年度津山圏域資源循環施設組合 11 月定例会

午前 10 時 42 分 開会

●議長（中島完一氏）

ご着席を願います。

本日、平成 29 年 11 月津山圏域資源循環施設組合議会定例会が招集されましたところ、皆様方におかれましては御多用のところご参集をいただき、大変ご苦労様でございます。

ただ今の出席議員は 15 名であります。

遅刻届が西野修平君から出ております。

定足数に達しておりますので、これから平成 29 年 11 月津山圏域資源循環施設組合議会定例会を開催いたします。

日程第 1 会議録署名議員の指名

●議長（中島完一氏）

日程第 1、「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 27 条の規定によって、2 番 田口 浩二議員、9 番 仲西 祐一議員を指名いたします。

日程第 2 会期の決定

●議長（中島完一氏）

次に、日程第 2、「会期の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は本日 1 日としたいと思います。

これに、ご異議ございませんか。

[承認「異議なし」と呼ぶ者あり。]

●議長（中島完一氏）

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は本日 1 日限りと決定いたしました。

日程第 3 議案第 2 号、議案第 3 号、報告第 2 号一括上程

●議長（中島完一氏）

次に、日程第 3 に入り、議案第 2 号「平成 28 年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算」、議案第 3 号「平成 29 年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第 1 次）」、報告第 2 号「管理者が専決処分した「損害賠償の額を定めることについて」を一括上程し、議題といたします。

この際、管理者の提案理由の説明を求めます。

△管理者（宮地昭範氏）

議長。

●議長（中島完一氏）

宮地管理者、登壇。

△管理者（宮地昭範氏）登壇

皆さん、おはようございます。本日、ここに津山圏域資源循環施設組合議会 11 月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては、ご多忙中にもかかわらず、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

議案第 2 号「平成 28 年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算」について、ご説

明を申し上げます。

本案は、地方自治法第 233 条第 3 項の規定に基づき、平成 28 年度津山圏域資源循環施設組合会計歳入歳出決算の認定を求めるものでございます。

それでは、平成 28 年度の決算概要につきましてご説明を申し上げます。

予算総額は、15 億 9,354 万 8 千円でございます。これに対する決算額は、歳入 16 億 4,507 万 8,892 円、歳出 11 億 4,092 万 8,464 円でございます。歳入歳出差引額 5 億 415 万 428 円を平成 29 年度へ繰り越しいたしております。

決算に関する関係書類につきましては、監査委員の審査に付し、その結果は会計決算審査意見書のとおりでございます。

長年にわたる課題であった津山圏域クリーンセンター建設事業は、平成 28 年 3 月に本稼働を迎えることができ、平成 28 年度は本格的な運営が始まる最初の年となりました。

年間を通じて大きなトラブルもなく、計画どおりのごみ処理が行えたことにつきましては、施設運営を行う津山圏域環境テクノロジー、収集・運搬業務を担う構成市町の担当者様をはじめ、その他関係の皆様方のご協力のたまものと心から感謝を申し上げます。

今後も、津山圏域クリーンセンターが、安全かつ適正に運営できるよう、引き続き尽力してまいりたいと、このように考えておりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、平成 28 年度決算の概要につきまして総括的な説明とさせていただきます。

続いて、議案 第 3 号「平成 29 年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第 1 次）」についてご説明申し上げます。

平成 29 年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第 1 次）は、当初予算決定後、施設運営実施に伴う所要の補正を行うもので、歳入歳出予算にそれぞれ 2 億 1,663 万 9 千円を追加し、総額を 12 億 5,739 万 4 千円とするものでございます。

次に、報告第 2 号「管理者が専決した「損害賠償の額を定めることについて」」につきましては、地方自治法第 180 条第 1 項及び平成 26 年 11 月 7 日津山圏域資源循環施設組合議会議決の管理者の専決処分事項の指定について 第 1 項の規定により行いました専決処分について、地方自治法第 180 条第 2 項の規定によりこれを議会に報告し、その承認を求めらるものでございます。

これは、庁用車が自転車に接触した事故につきまして、相手方と損害賠償の額を 235 万 4,151 円としてその協議がととのい、8 月 28 日に専決処分をいたしたものでございます。

なお、議案第 2 号及び議案第 3 号につきましては、後ほど、大下副管理者よりご説明させていただきますけれども、なにとぞよろしくご審議のうえご議決を賜りますようお願い申し上げます。

△副管理者（大下順正氏）

議長。

●議長（中島完一氏）

大下副管理者。

△副管理者（大下順正氏）

それでは、議案第 2 号の内容につきまして、決算書に沿ってご説明を申し上げます。

説明につきましては、決算の事項別明細書で各款の金額と主な内容についての説明にとどめさせていただきます。なお備考欄にその内容を書いておりますので、併せてご覧いただきたいと、このように思います。

それでは、歳入からご説明を申し上げますので、決算書の 5 ページ、6 ページをご覧いただきたいと、思います。

まず、45 款 分担金及び負担金は、構成の市町分担金として、8 億 1,502 万 6 千円、50 款 使用料及び手数料は、ごみの搬入に係るごみ処理手数料が主なものでございまして、1 億 1,354 万 6,060 円、65 款 財産収入は、敷地に隣接する市道の改良に係る組合有地売払収入で、45 万 8,916 円を収入いたしております。80 款 繰越金は、平成 27 年度決算による繰越金で 3 億 1,621 万 3,318 円、85 款 諸収入は、次のページの備考欄にございますが、売電収入 1 億 3,322 万 8,976 円、有価物販売収入 2,769 万 5,555 円など、合計で 1 億 7,013 万 4,598 円を収入いたしております。

続いて、90 款 組合債でございまして、施設の建設費の財源といたしまして発行した地方債で、2 億 2,970 万円を収入いたしており、予算総額 15 億 9,354 万 8 千円に対しまして歳入決算額合計は、16 億 4,507 万 8,892 円でありました。

続いて、歳出のご説明を申し上げますので、9 ページ、10 ページをご覧いただきたいと思っております。10 款 議会費は、議員の費用弁償などで、24 万 4,602 円、15 款 10 項 総務管理費は、組合の運営に係る経費でございまして 7,562 万 3,542 円を支出いたしております。60 項 監査委員費につきましては、監査委員費用弁償などで、11 万 6,160 円を支出いたしております。

次のページの 25 款 20 項 05 目 清掃総務費は、プロパー職員に係る給与で 1,273 万 224 円、10 目 管理棟管理費は、管理棟の組合事務所経費及びリサイクルプラザ運営経費などでございまして 3,334 万 1,507 円、12 目 熱回収・リサイクル施設等管理費は、熱回収施設、リサイクル施設の運営に係る経費、及び敷地の管理に係る経費などでございまして 6 億 1,140 万 6,437 円を支出いたしております。

続いて次のページの 15 目 最終処分場の管理費は、水質監視等の業務委託、最終処分場の管理運営に係る経費でございまして、1,314 万 5,424 円を支出いたしております。

続いて、20 目 施設建設費では、3 億 3,048 万 174 円を支出いたしております。その内訳はクリーンセンター建設事業に係る委託業務及び工事請負が主なものでございまして、まず、13 節 委託料では、環境影響評価に伴う環境管理業務委託など 6 事業でございまして、合計が 2,619 万 4,480 円を支出いたしております。

続いて、次のページの 15 節 工事請負費は、還元施設建設費など 6 事業でございまして、合計で 2 億 8,137 万 4,873 円を支出をいたしております。続きまして 65 款 公債費では、10 目 元金は、組合債の償還元金として 4,274 万 3 千円、同じく 15 目 利子は、組合債の償還利子で 2,109 万 7,394 円を支出いたしております。

最後に、80 款 10 項 10 目 予備費につきましては、支出はございませんでした。

以上、歳出決算額の合計は、11 億 4,092 万 8,464 円でございます。

続きまして、17 ページの実質収支に関する調書をご覧いただきたいと思っております。

歳入歳出差引額 5 億 415 万円から、繰越明許費繰越額に係る一般財源 2,050 万円を差し引きました実質収支額は、4 億 8,365 万円となっております。

以上で、議案第 2 号の補足説明を終わります。

続きまして、議案第 3 号の補足説明を申し上げますので補正予算書の 1 ページをご覧いただきたいと思っております。

平成 29 年度津山圏域資源循環施設組合会計補正予算（第 1 次）は、歳入歳出、それぞれ 2 億 1,663 万 9 千円を追加し、総額を 12 億 5,739 万 4 千円とするものでございます。

続いて、歳出予算を費目別にご説明いたしますので、補正予算書の 8 ページをご覧いただきたいと思っております。

25 款 20 項 10 目 管理棟管理費 の需用費 6 万 3 千円、1 つ飛びまして 15 目 最終処分場管理費 の需用費 35 万 7 千円、続いて 18 目 多目的広場管理費 の需用費 56 万 9 千円は、いずれも落雷被害を受けた電気設備の修繕に係る経費を計上するものでございます。

1つ戻りまして12目の熱回収・リサイクル施設等管理費につきましては、施設運営・維持管理業務における物価変動に伴う委託料額の改定分505万7千円、ごみ搬入量の変動に伴う焼却灰セメント原料化事業委託料の不足見込み800万円、陶器リサイクルの実施に伴う委託料50万円及びリサイクルコンテナ購入費100万円を計上するものでございます。

80款 10項 10目 予備費 は、2億109万3千円の増額を行っております。

次に、歳入につきましてご説明申し上げますので、6ページ、7ページをご覧くださいと思います。

50款 20項 20目 衛生手数料 は、搬入量増により見込まれる家庭ごみ処理手数料200万円の増額、80款 10項 10目 繰越金 では、前年度繰越金の2億1,365万円を増額いたしております。85款 50項 15目 雑入 では、落雷被害に係る損害共済金98万9千円を計上するものでございます。

以上で、議案第3号の補足説明とさせていただきます。

●議長（中島完一氏）

提案理由の説明は以上でございます。

日程第4 議案質疑及び一般質問、採決

●議長（中島完一氏）

これより、日程第4に入り、「議案質疑及び一般質問」を行います。質疑・討論の通告がございませんので、これより採決に移ります。

ただいま一括上程、議題とされております議案第2号から報告第2号までの3議案につきましては、それぞれ起立により採決いたします。

まず、議案第2号につきまして採決いたします。

お諮りいたします。

本案を、原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

(起立全員)

●議長（中島完一氏）

起立全員でございます。よって、議案第2号につきましては、原案のとおり可決することに決しました。

次に、議案第3号について採決いたします。

お諮りいたします。

本案を、原案のとおり可決することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

(起立全員)

●議長（中島完一氏）

起立全員であります。よって、議案第3号につきましては、原案のとおり可決することに決しました。

次に、報告第2号について採決いたします。

お諮りいたします。

本案を、原案のとおり承認することに賛成諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

(起立全員)

●議長（中島完一氏）

起立全員と認めます。よって、報告第2号につきましては、原案のとおり承認することに決しました。

以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全て終了いたしました。

この際、管理者よりご挨拶があります。

△管理者（宮地昭範氏）

議長。

●議長（中島完一氏）

宮地管理者。

△管理者（宮地昭範氏）

本日は、大変お忙しい中、組合議会定例会にご出席いただき、また、ただ今は提案した議案につきましてご議決を賜り、誠にありがとうございました。

今後とも、津山圏域クリーンセンターの安全かつ適正な施設運営に努めてまいりますので、どうぞ議員の皆様方におかれましても、ご指導並びにご支援のほどを心よりお願い申し上げます。

本日は大変ありがとうございました、ご苦勞様でございました。

●議長（中島完一氏）

これをもちまして、平成 29 年 11 月津山圏域資源循環施設組合議会定例会を閉会といたします。

本日は大変ご苦勞様でした、ありがとうございました。

午前 10 時 58 分 閉会

地方自治法 123 条第 2 項の規定により、本会議の顛末を証するため、ここに署名する。

平成 29 年 11 月 17 日

津山圏域資源循環施設組合議会 議長 中 島 完 一

津山圏域資源循環施設組合議会 議員 田 口 浩 二

津山圏域資源循環施設組合議会 議員 仲 西 祐 一